

研修会や情報交換会で、「私のヒヤリ・ハット作業や危なかった(ケガした)経験」についてアンケートを実施したところ、以下のような意見が出ました

※2020年アンケート結果より 記載いただいた内容をそのまま表現しております



調査で分かった人それぞれの危ないこと

経験、体力、年齢、性別……。人それぞれのヒヤリ・ハットを知ること、自身の農場で事故を防ぐ大事な情報。

牛にど突かれた、
飛ばされてストールに
顔面強打。

育成牛の除糞作業の時
に襲われて倒された。
同時に、コンクリートの
壁に叩き付けられた

発情牛にど
つかれて、
全身打撲で
入院

牛床の麦ワラやり
の時、スベって、バ
ンクリーナーの溝に
突っ込んでしまう

牛を挟んで母と話そうと
したら牛が驚いて、後ろ
にいた母を蹴飛ばした。
起き上がった所に
同じ牛が再キック！
もうダメかと思った

パーラーの搾乳終了
後の掃除の時に太い
ホースを踏み倒し、
足の甲を骨折した。
チョットした不注意
だった

スタンション牛舎で
発情の牛にスタンディ
ングされ、鼻を骨折した

ハッチで新生児に
初乳を飲ませて、
急に立ち上がろうと
して、ひざの関節を
ねじった

もくしをつけた牛
に引っ張られて、
そのままひきずら
れた。手がはずせ
なかった

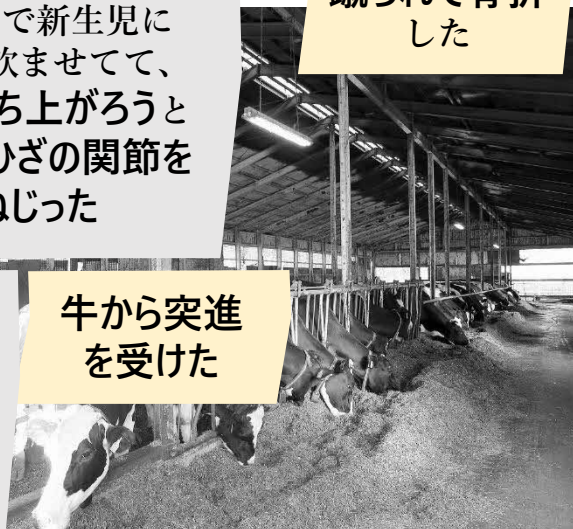
モクシをつける時に
頭を上げられ、
くちびるを切った

雪の積もったス
タックサイロの
上に登った時に
シートが滑るので、
上から転倒した

ロープで牛
を固定して
いるとき、
牛にひっぱら
れていった

搾乳中に親牛
にふくらはぎを
蹴られて骨折
した

牛から突進
を受けた



下の写真から、何が起こるか分かりますか？



引っ越してきたばかりの牛が
います。分娩後すぐで、体調
は悪いです（食欲減退、
低カルシウム血症）

獣医が来るので焦って処置の
準備をします。寝わらを整え
ながら、調子の悪い牛の懐
に入っていきます。

この後、作業者は牛とサイドパーティション
の間に挟まれろっ骨を損傷、気絶しました。
この事故を防ぐにはどうしたら良いでしょう。